

なでしこ vision

世界のなでしこになる。

日本女子サッカーの発展のために、
そして「JFAの理念、ビジョン、約束」を実現するために、
「世界のなでしこになる。」というビジョンのもと、
女子サッカーに関わるすべての人々が共有し、遂行する、3つの目標を定める。

1. サッカーを日本女性のメジャースポーツにする。
2. なでしこジャパンを世界のトップクラスにする。
3. 世界基準の「個」を育成する。

2007 JFA女子委員会 重点施策

2015年、
女子のプレーヤーを300,000人にする。

1. サッカーを日本女性のメジャースポーツにする。

- ◆ 女子選手を取り巻くサッカー環境を、「Players First!!」の観点で整備する。

【2007 重点施策】

- なでしこリーグ 将来構想の検討
- リーグ戦導入を含めた国内大会の抜本的改革の検討
- 全国高等学校体育連盟への加盟
- 中学生年代の活動の場を増やす：Jリーグアカデミーとの連携／中学生年代の大会参加資格改定の周知・浸透
- 小学生年代のサッカーに親しむ場を増やす：小学生年代への普及プログラムの検討
- レディース年代のプレー機会の増加・充実（フットサル、フェスティバル、レディース大会の検証から）

- ◆ 近い将来、FIFA 女子ワールドカップを日本で開催する。

【2007 重点施策】

- ワールドカップ招致の具体的検討

- ◆ 女子サッカーの認知度を上げる。

【2007 重点施策】

- 積極的な情報発信
- 「なでしこ＝日本女子サッカー」のイメージを定着させるための「なでしこ」の活用
- より多くの能力ある女性の登用（大会・クラブ運営スタッフ、指導者 など）

2015年、
日本を FIFA ランキング トップ5にする。

2. なでしこジャパンを世界のトップクラスにする。

- ◆ U-20/U-17 ワールドカップには必ず出場する。

- ◆ ワールドカップ／オリンピックでベスト4に進出する。

【2007 重点施策】

- 各種大会の分析から導き出した強化プランの策定
- アジア予選突破に向けた強化の充実／強化日程の確保・維持

3. 世界基準の「個」を育成する。

- ◆ 各年代日本代表選手につながる、タレントの発掘・育成システムを整備する。

【2007 重点施策】

- なでしこチャレンジプロジェクトの導入
- ナショナルトレセン女子 U-15 の充実
- ナショナルトレセン U-12 女子選手参加促進
- スーパー少女プロジェクトと各年代代表チーム活動とのリンク
- JFAアカデミー福島機能・活動の充実
- トレセン（ナショナルから都道府県まで）の機能・指導の質の向上
- 地域・都道府県トレセン U-18 の活性化
- 生年別選手データの活用

- ◆ 女子に携わる指導者のレベルアップを図る。

【2007 重点施策】

- 指導者講習会の充実・受講促進
- 女性指導者登用の増加

そして、「なでしこ」らしく…。

「なでしこ」らしい選手

= 日本女子サッカー選手の姿、目指す姿

「なでしこ」らしきとは

ひたむき 芯が強い 明るい 礼儀正しい

「なでしこ」らしい選手になろう！

「なでしこ」らしい選手を育てよう！